置賜地域における次期山形県地域公共交通計画の地域別目標について

資料５－３

置賜地域の共通課題（置賜地域別部会における意見）

○地域公共交通の維持に係る財政負担増加、利用者減少
・人口減少等により地域公共交通の利用者が減少することに伴い、地域公共交通の維持に係る市町の財政負担が増加。

○バス、タクシー運転手の人材不足、高齢化
・人口減少・高齢化が進み、バス、タクシーの運転手不足が深刻化。

県全体にわたる共通課題　⇒　次期山形県地域公共交通計画を基に取組みを推進

○市町間の移動に係る利便性向上（広域連携）
・通学や通院、ショッピングなど地域住民の日常生活における移動範囲は市町の区域を越え、広域的な生活圏を形成している一方、各市町が運営する地域公共交通は、市町が提供するサービスという性格上、運行区域は市町の区域内に留まることが多い。
・高齢化のさらなる進行により、自家用車での移動が困難な住民の増加が見込まれ、自家用車以外の移動手段が求められる中、鉄道も含め、市町の圏域を越えた移動の利便性向上を図ることが必要。
⇒医療機関や商業施設等、地域住民の利用が活発な拠点へのアクセスの利便性を高めていく。

置賜地域全体にわたる課題　⇒　「地域別目標」を設定し、市町間で連携しながら課題解決に向けた取組みを推進

地域別目標

○公立置賜総合病院等を核とした市町の圏域を越えた地域公共交通の利便性向上
（地域の実情を踏まえた置賜総合病院や商業施設等へのアクセスの改善）

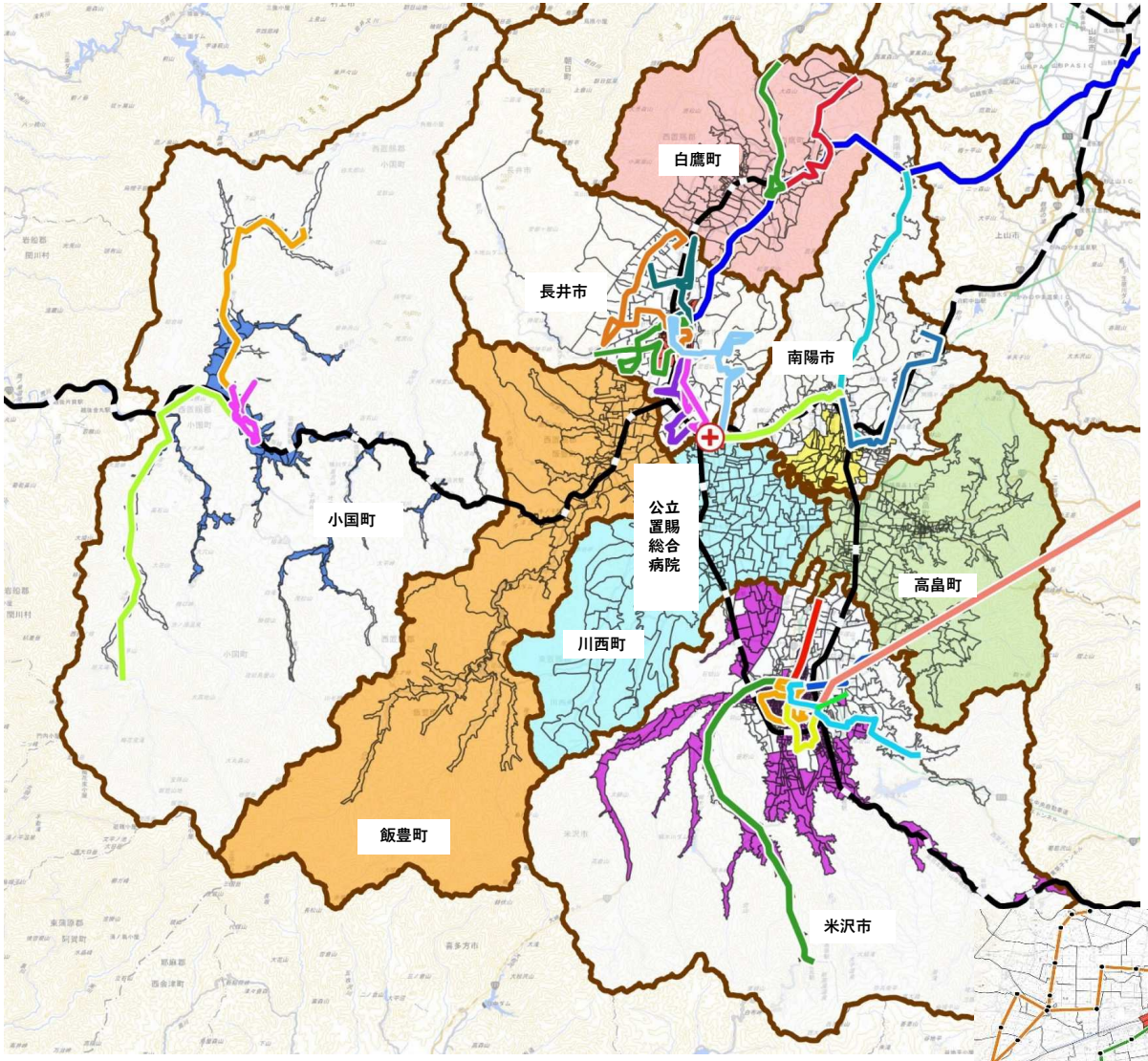
＜目標達成（広域連携）に向け必要な対応・施策案＞
○住民ニーズの把握
・市町における区域外運行の実証実験の結果や置賜管内の将来推計人口などを踏まえながら、広域連携のニーズ把握が必要。
○市町間における調整
・隣接する市町における運行ルートや運行頻度の調整、運行費用に係る財政負担の割合、地域公共交通会議における合意形成等。
○運行事業者との調整
・各市町における既存の公共交通（鉄道（JR・フラワー長井線）、バス、デマンド交通）運行事業者の営業区域や運行路線、運行ダイヤ等の調整。

スケジュール（イメージ）

※具体のスケジュールや進め方については、引き続き地域別部会の中で協議・検討

	次期計画策定に向けた準備	次期山形県地域公共交通計画期間				
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
ニーズ調査	調査方法等の検討・実施・検証					
施策検討		調査を踏まえた施策検討				
実証実験			実証実験の協議・実施・効果検証			
本格運用					本格運用に向けた協議・実施	

参考資料（置賜地域路線図）



長井市
里巻・中央・置賜総合病院線
糀舘・白兎・中央線
中央・伊佐沢・置賜総合病院線
中央・置賜総合病院線
九野本・中央・平山線
置賜総合病院・豊田・中央線

米沢市
市街地循環線
万世線
万世線（直行便）
学園都市線
（市内エリア指定型デマンド交通） 山上、田沢、広幡、六郷、南原、梁沢、綱木地区 ⇔市街地指定エリア

小国町
北部線
循環線
南部線
（町内路線不定期型デマンド交通） 東部線、金目線、足中線、白沼線

南陽市
西部地区バス
北部地区連絡バス
中川地区バス
（沖郷地区乗用タクシー「おきタク」） おきタクのりば

白鷹町
荒砥ー大瀬線
荒砥ー中山線
（町内全域＋町外デマンド交通）

川西町
（町内全域デマンド交通）

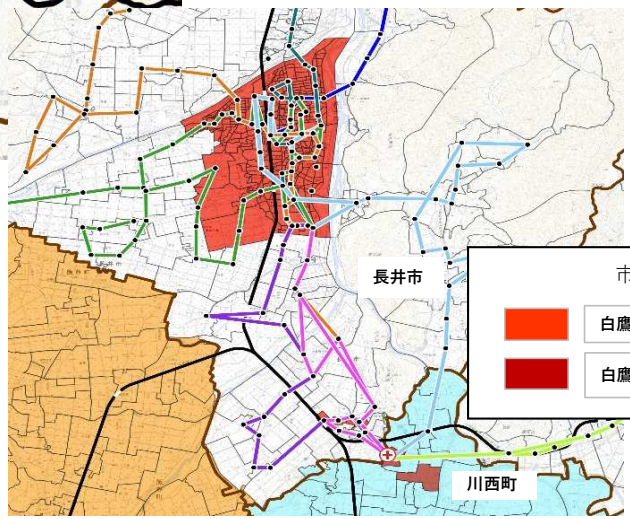
高畠町
（町内全域＋町外デマンド交通）

飯豊町
（町内全域＋町外デマンド交通）

※予約制高速バスは除く

・山形ー小国ー新潟（南陽・飯豊経由）

山交バス
（高速）米沢ー仙台
米沢ー小野川温泉ー白布温泉
米沢ー上郷
米沢ー窪田
山形ー白鷹ー長井



市町村を跨ぐデマンドエリア	
	白鷹町、飯豊町デマンド→長井市指定エリア
	白鷹町、高畠町、飯豊町デマンド→公立置賜総合病院